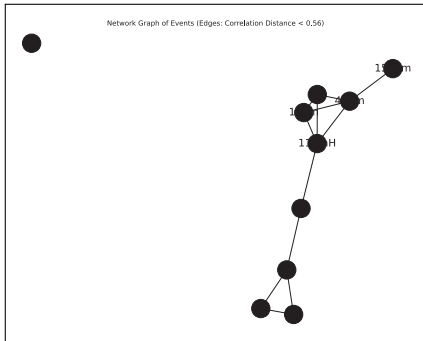
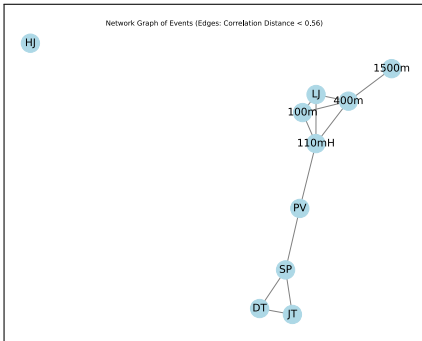


## 『生成 AI を活用したデータサイエンス入門：実例で学ぶ教科書』

(竹村彰通 監修, 今井貴史・松原悠・市川治 編, 学術図書出版社)

## 正誤表 第1刷用

頁	場所	修正前	修正後																				
11	表 1.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問①への回答</th> <th>度数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3</td> </tr> <tr> <th>質問②への回答</th> <th>1</th> </tr> </tbody> </table>	質問①への回答	度数	A	3	B	3	質問②への回答	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問①への回答</th> <th>度数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>4</td> </tr> <tr> <th>質問②への回答</th> <th>1</th> </tr> </tbody> </table>	質問①への回答	度数	A	2	B	4	質問②への回答	1				
質問①への回答	度数																						
A	3																						
B	3																						
質問②への回答	1																						
質問①への回答	度数																						
A	2																						
B	4																						
質問②への回答	1																						
21	3行目	ヒストグラムは、データの分布を視覚的に表現する最も基本的なグラフの一つです。横軸にデータの値（この場合は誕生日）、縦軸に頻度（人数）をとり、棒グラフで表現します。	ヒストグラムは、データの分布を視覚的に表現する最も基本的なグラフの一つであり、ある特定のデータを区間（この場合は誕生日）ごとに区切り、各区間の数値のばらつきを棒グラフに似た形で表現します。																				
21	プロンプト 2.4	四半期ごとの誕生日人数のヒストグラムを作成してください。	日付を4月始まりの連続変数と見なします。四半期ごとの誕生日人数のヒストグラムを作成してください。																				
21	プロンプト 2.4 回答	四半期ごとの誕生日人数のヒストグラムを作成しました。	4月を起点とした連続変数として四半期を配置し、四半期ごとの誕生日人数のヒストグラムを作成しました。																				
		<p>四半期ごとの誕生日人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>四半期</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Q1 (1~3月)</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>Q2 (4~6月)</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>Q3 (7~9月)</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>Q4 (10~12月)</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	四半期	人数	Q1 (1~3月)	240	Q2 (4~6月)	400	Q3 (7~9月)	400	Q4 (10~12月)	300	<p>四半期ごとの誕生日人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>四半期</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Q2(4-6月)</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>Q3(7-9月)</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>Q4(10-12月)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>Q1(1-3月)</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table>	四半期	人数	Q2(4-6月)	400	Q3(7-9月)	400	Q4(10-12月)	300	Q1(1-3月)	240
四半期	人数																						
Q1 (1~3月)	240																						
Q2 (4~6月)	400																						
Q3 (7~9月)	400																						
Q4 (10~12月)	300																						
四半期	人数																						
Q2(4-6月)	400																						
Q3(7-9月)	400																						
Q4(10-12月)	300																						
Q1(1-3月)	240																						
40	プロンプト 4.4	実測値（12回と同等以上	実測値（12回）と同等以上																				
56	式 (5.2)	$\chi^2 = \frac{(\text{セル1の期待度数} - \text{セル1の観測度数})^2}{\text{セル1の期待度数}} + \frac{(\text{セル2の期待度数} - \text{セル2の観測度数})^2}{\text{セル2の期待度数}} + \dots$	$\chi^2 = \frac{(\text{セル1の観測度数} - \text{セル1の期待度数})^2}{\text{セル1の期待度数}} + \frac{(\text{セル2の観測度数} - \text{セル2の期待度数})^2}{\text{セル2の期待度数}} + \dots$																				
72	6.6節6行目	間取りデータは数値ではない（質的変数） <b>だ</b> ということです。	間取りデータは数値ではない（質的変数） <b>と</b> ということです。																				

頁	場所	修正前	修正後
82	脚注 5	日付は <b>モジュール</b> の正式な開始日からの経過日数で表現されています。VLE には <b>モジュール</b> の開始日より前からアクセスできるため、日付は負の値もとれます。	日付は <b>プレゼンテーション</b> の正式な開始日からの経過日数で表現されています。VLE には <b>プレゼンテーション</b> の開始日より前からアクセスできるため、日付は負の値もとれます。
101	下 3 行目の図		
120	脚注 1	旧・千葉波浪観測塔 (北緯 35 610833°, 東経 140 023333°, WGS84)	旧・千葉波浪観測塔 (北緯 35.610833°, 東経 140.023333°, WGS84)
132	11.2 節 4 行目	データセットは <a href="https://github.com/gephi/gephi/wiki/Datasets">https://github.com/gephi/gephi/wiki/Datasets</a> より取得可能	データセットは <b>本書のサポートサイト</b> より取得可能
132	脚注 3	修正版が <a href="https://github.com/MADStudioNU/lesmiserables-character-network">https://github.com/MADStudioNU/lesmiserables-character-network</a> から取得できます。	修正版が <a href="https://github.com/MADStudioNU/lesmiserables-character-network">https://github.com/MADStudioNU/lesmiserables-character-network</a> から <b>jean-complete.dat</b> として取得できます。ただし本書で使ったデータとはデータ形式が異なるため、本章と同様の分析を行うには事前処理が必要です。
147	11.4 節 6 行目	<b>モジュラリティ (modularity) 最大化</b> に限定して説明しています。	<b>モジュラリティ (modularity) 最大化</b> に限定して説明します。
147	下から 6 行目	$d_c$ はコミュニティ $c$ 内の次数の合計です。	$d_c$ はコミュニティ $c$ 内の <b>ノード</b> の次数の合計です。
148	図 11.2	$Q \approx 0.32$ $Q = 0$ $Q \approx 0.11$	$Q = 0.3$ $Q = 0$ $Q = -0.08$
174	課題 [2] 1 行目	RGB の <b>平均値</b> をそのまま色の比率とみなし	RGB <b>それぞれの平均値の割合</b> をそのまま色の比率とみなし
175	本文 8 行目	<b>地図</b> 地図上の	地図上の